

令和6年度 自己評価結果報告書

認定こども園 新田幼稚園

保育・教育目標

本園は、園児の健全な成長 発達をはかることを目的としている。
遊び、行事を通した様々な体験、音楽、科学、英語、体操教室など情操教育や自然と触れ合う保育を行っている。友だちや保育教諭との関わりの中から、社会性を学び、生きるための知識や感性を獲得していくことを考える。

- ・基本的な生活習慣を身に着につけ、健康な心を育てる。
- ・自主、自立の精神の芽生えを培う。
- ・身近な自然に対する興味や関心をもち、豊かな感性を育てる。

保育の計画
【目標】 ○個々の発達段階を把握し、遊び込める環境構成を考える。 ○振り返りを大切にし、継続性のある計画を立てる。 ○子どもが主体的に活動できるように行事を計画する。
【できたこと】 ○子どもたち自身で遊びが展開できるような環境構成に努めた。 ○季節に応じて、季節の変わりを子どもたちが感じられるような保育を心がけた。 ○子どもたちの日々の活動や様子について、保護者対応ができていた。
【反省】 ○時間に余裕がなく反省を見つめ直すことが十分にできず、次の目標に向かってしまった。 活動がバタバタとしてしまうことがあったので見通しをもって活動したい。

子どもへの対応
【目標】 ○一人ひとりの良さを認め、ありのままの姿を受け止める。 ○子どもたちの話をよく聞き、一人ひとりを理解しようと意識しながら関わる。 ○体調変化や小さなサインにも気づけるようにする。
【できたこと】 ○日々の生活で子どもの成長したことを保育者同士で伝え合うことができた。 ○子どもたちの健康に関して視診、触診、検温など園全体で取り組んだ。 ○子どもたちと楽しさを共感することができた。
【反省】 ○「こうなってほしい」という思いが強くなる場面があった。また振り返りの中で、急がせる言葉や声の大きさを反省する。

保育者としての資質
【目標】 ○向上心を持ち子どもの最善の利益を考えた保育を心がけ、他保育者と思いを共有する。 ○専門職としての意識を持ち、常に向上できるよう学びを吸収していく。(研修参加) ○保育者としての振る舞いや言葉遣いで活動・生活をする。
【できたこと】 ○担当クラスだけではなく、他のクラスの子どもたちにも目を向け声掛けができた。 ○子どもたちが楽しめるような保育を話し合うことによって、アイデアを出し合うことができた。 ○研修に参加した職員は、職員会で研修内容を報告し情報共有をしている。
【反省】 ○職員会では報告だけでなく、意見交換の場として自分の意見をもっと伝えられるようになると良い。 ○日々の子どもの遊びの様子を振り返り、園の危険予知 死角を話し合う機会を更に増やす。

保護者への対応
【目標】 ○子どもの成長を共に喜び、寄り添える存在となれるように努める。 ○日々の子どもの様子を伝え、家庭での悩みなども連携をとって解決に努める。
【できたこと】 ○その日にあった出来事を保護者に伝えつつ家庭での様子などを聞くことができた。 ○情報（感染症・自然現象・行事など）は、おたよりで配布また一斉メールで配信できた。 ○保護者からの相談や意見は、担任だけでなく職員間で共有し、園での方針を丁寧に伝えられるよう心がけてきた。
【反省】 ○保護者からの質問に対して迅速な対応ができなかった時があった。 ○言葉遣いに気をつけるよう意識していたが、ふとした時にフランクな話し方になっていたことがあった。

【全体として】

自己評価において、項目の中でまだ努力の必要と反省をする職員もいる。日々の保育を振り返りよく考えて評価したのだろう。

中堅保育者も若手保育者を指導し、良き競い合いをもって進んでいけるような雰囲気づくりを目指し更なる保育向上を願っている。

【スクールバスの現状】

出発前のバスチェック、アルコールチェックの徹底において運行。
運転手、添乗職員との連携を保ち園児の安全・乗降確認の徹底に努める。